

令和6年度 NPO パートナースhip創造事業補助金

活動報告会報告書

団 体 名	吉都線に観光列車を呼ぼう！小林実行委員会
実施日時	令和6年9月10日～令和7年2月11日
事業費	412,990 円（補助金交付決定額 400,000 円）
事業概要	<p>小林市は J R 小林駅周辺で K I T T O 小林や T E N A M U ビル建設など、駅を中心とした街づくりを行っている。昨今、 J R 吉都線は少子化や交通インフラの整備等により乗客数が減少し、鉄道そのものの維持・存続が懸念されている。そのような鉄道を取り巻く環境が変化中、行政と連携した事業を行うことにより、 J R 吉都線の利用促進と J R 吉都線全線開業 1 1 1 周年にむけて市民の機運の醸成を図ることを目的とする。</p>
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国ローカル鉄道サミット in 只見線（福島県）</li> </ul> <p>吉都線応援大使と参加し、全国のローカル線の現状と利用促進方法や行政・ J R との協働の取り組みを勉強した。当日のサミットでは、吉都線の事例発表を行かない、 NHK 福島放送に取り上げられた。来年度は南九州で開催が予定されており吉都線からもブース出展を計画したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イナガキヤスト講演会</li> </ul> <p>富山県在住の写真家イナガキヤスト氏をお呼びして、宮崎こばやし熱中小学校と共催講演会を開催した。イナガキ氏は富山県や北陸ではテレビ番組を持つ程のカメラマンで、吉都線の魅力と沿線の観光を県内外にアピールする事が出来た。</p>
工夫した点	<p>宮崎こばやし熱中小学校や吉都線利用促進協議会と協働することで、効果的・効率的に事業を進めることが出来た。</p>
反省点 (課題)	<p>ローカル線の維持を行政頼みにせず、沿線住民一人一人が自分の街をどのようにしたいのかを真剣に考える時期に来ている。吉都線に対する住民の意見集約等が今後の課題と考える。</p>
今後の計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吉都線の維持・存続に向けた市民の意識向上</li> <li>・鉄道（公共交通）への関心の高まりによる日常使い（乗車人員）の増加</li> <li>・将来の観光列車誘致に向けたイメージの醸成</li> </ul>

○活動状況の写真

